資料8（1）

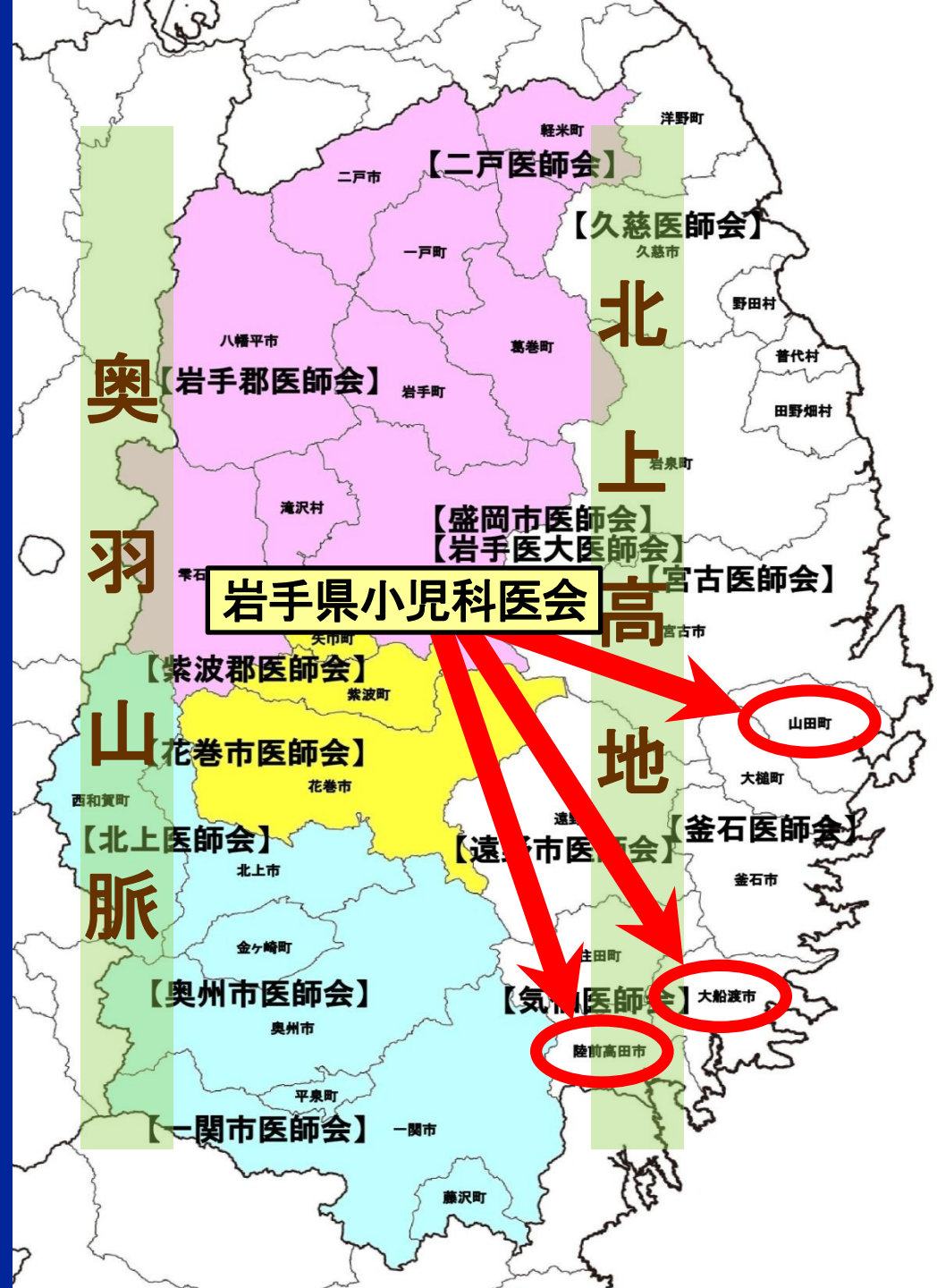
持続的な岩手県医師会の医療支援活動

岩手県医師会
会長　石川　育成

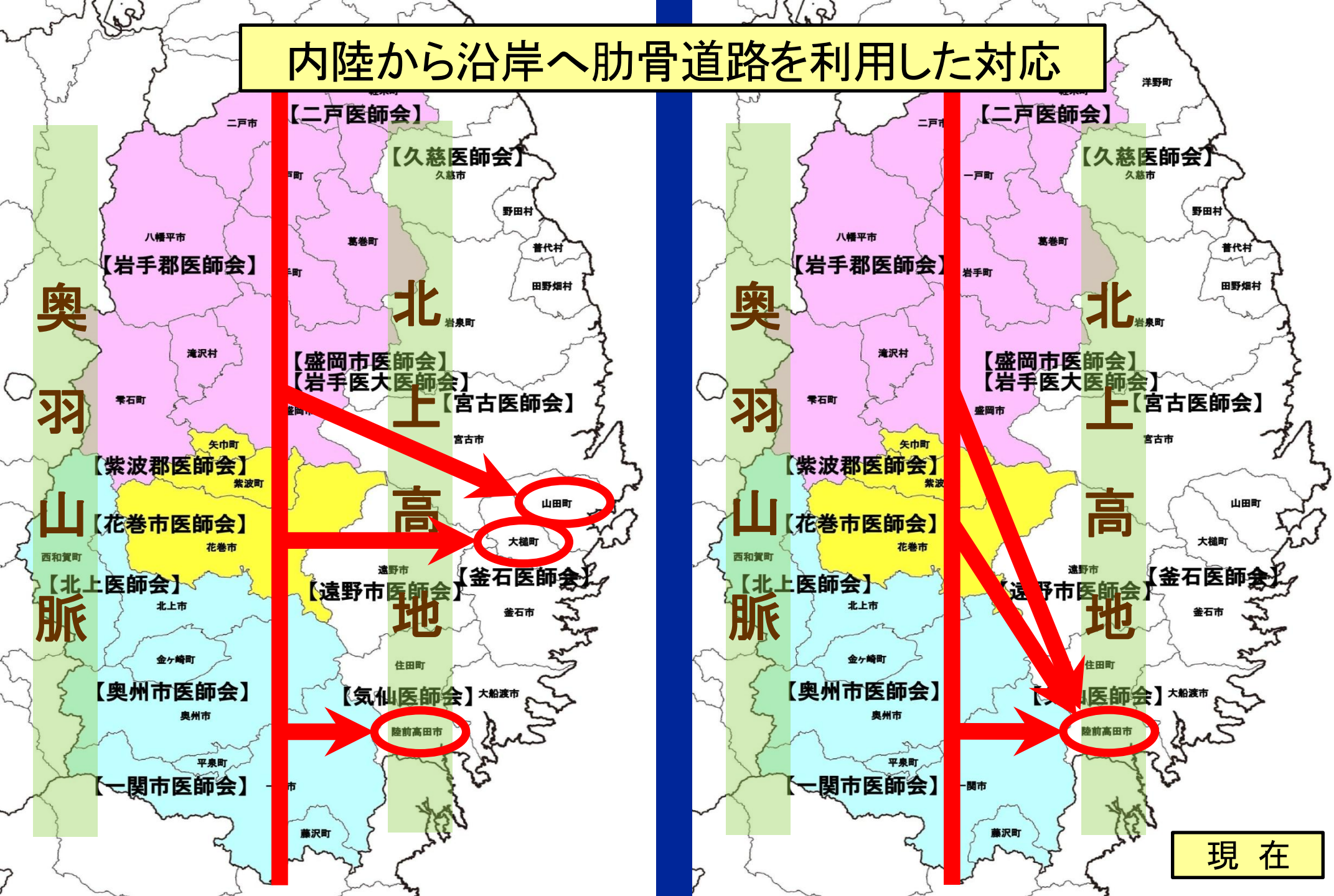
JMAT岩手の支援活動

1. 乳幼児健診・学校健診（岩手県小児科医会）
   平成23年5月26日～　継続中（平成25年3月31日まで）
2. 山田町保健センターの夜間診療
   平成23年6月13日～7月3日
3. 県立病院への休日診療支援
   大槌病院　平成23年7月3日～平成24年3月31日
   山田病院　平成23年7月10日～平成24年12月31日
4. 岩手県医師会高田診療所
   平成23年8月7日～　継続中（8診療科）
   平成23年10月15日　心療内科 開始
   平成24年7月7日　子どもの心のケア 開始

岩手県小児科医会による
乳幼児健診・学校健診



内陸から沿岸へ肋骨道路を利用した対応



陸前高田市中心部
希望ヶ丘病院（小林祐彦）
岩手県立高田病院 移転候補地
平成 29 年度 開院予定
鵜浦医院
平成24年6月26日 開院
岩手県医師会高田診療所
（仮設診療所）
平成23年8月7日 開院
高田診療所 ⇔ 県立高田病院
約6km
平成23年4月26日
仮設移転
岩手県立高田病院
（仮設病院）
平成23年7月25日
仮設移転
大町クリニック（村上靜一）
たけだ整形外科クリニック（武田 健）
鵜浦医院（鵜浦 章）
村上皮膚科医院（村上耕喜）
たかた駅前クリニック（十文字教行）
松原クリニック（盛 直久）
岩手県立高田病院
（仮診療所）
平成23年3月13日
仮移転
岩手県立高田病院（石木幹人）

岩手県医師会高田診療所

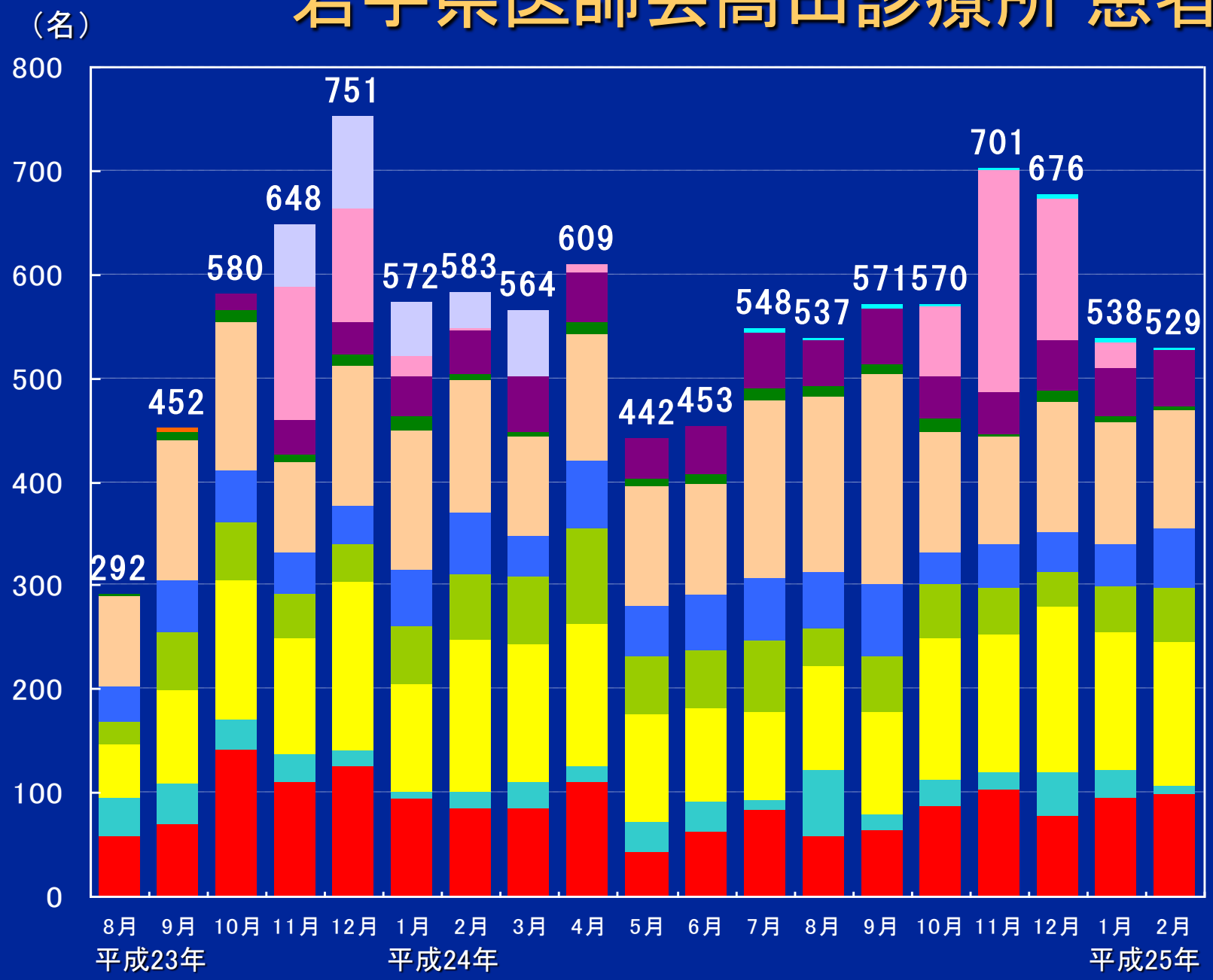
トレーラーハウス
眼科・心療内科

プレハブ
内・小児・外・整形・
耳鼻・皮膚など
全診療科交代制

プレハブ
子どもの心のケア

岩手県医師会高田診療所 患者数

（延べ人数）



平成25年2月末現在

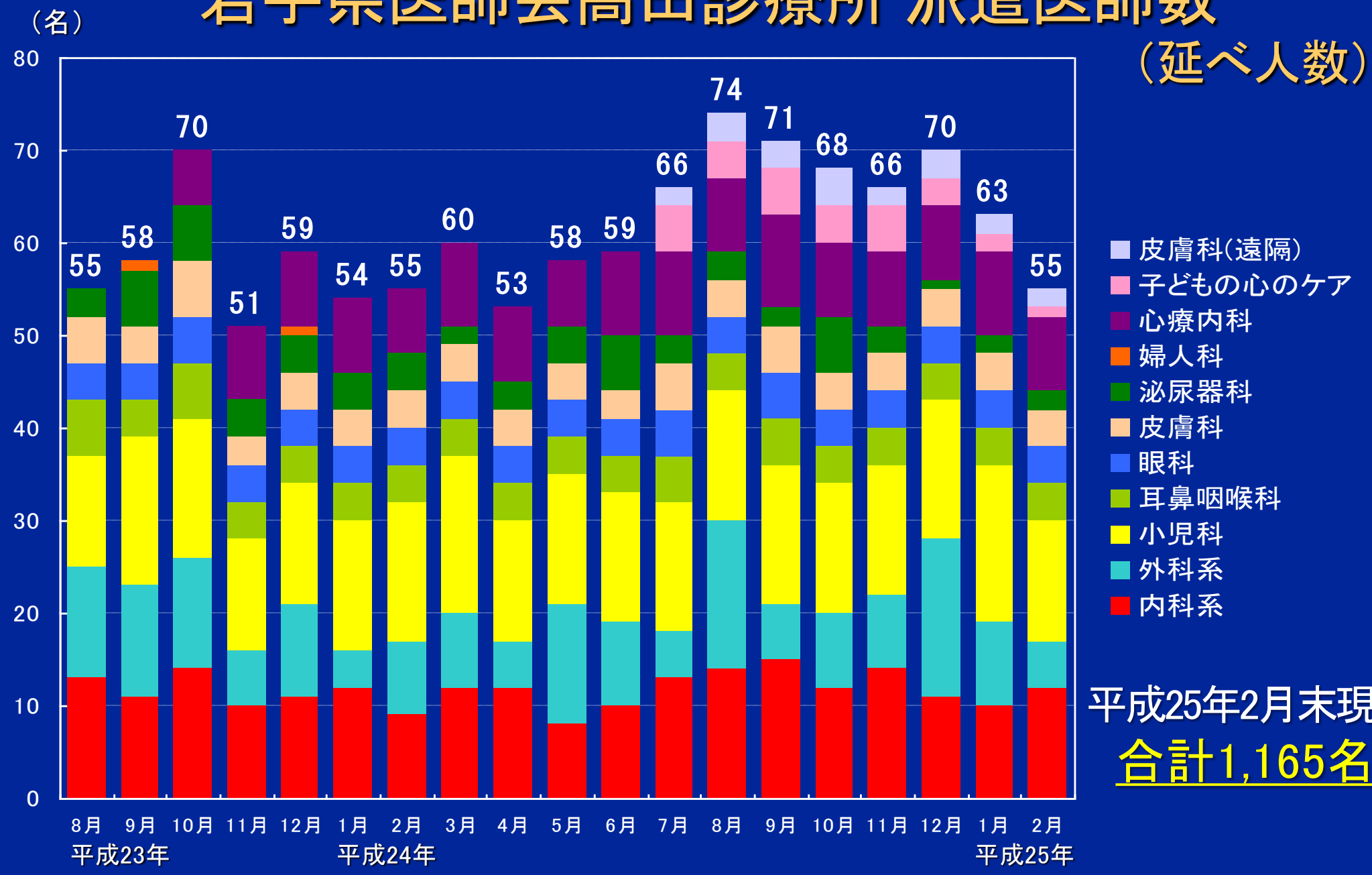
合計10,616名

岩手県医師会高田診療所 患者分布状況

平成23年8月～平成25年2月

岩手県医師会高田診療所 派遣医師数

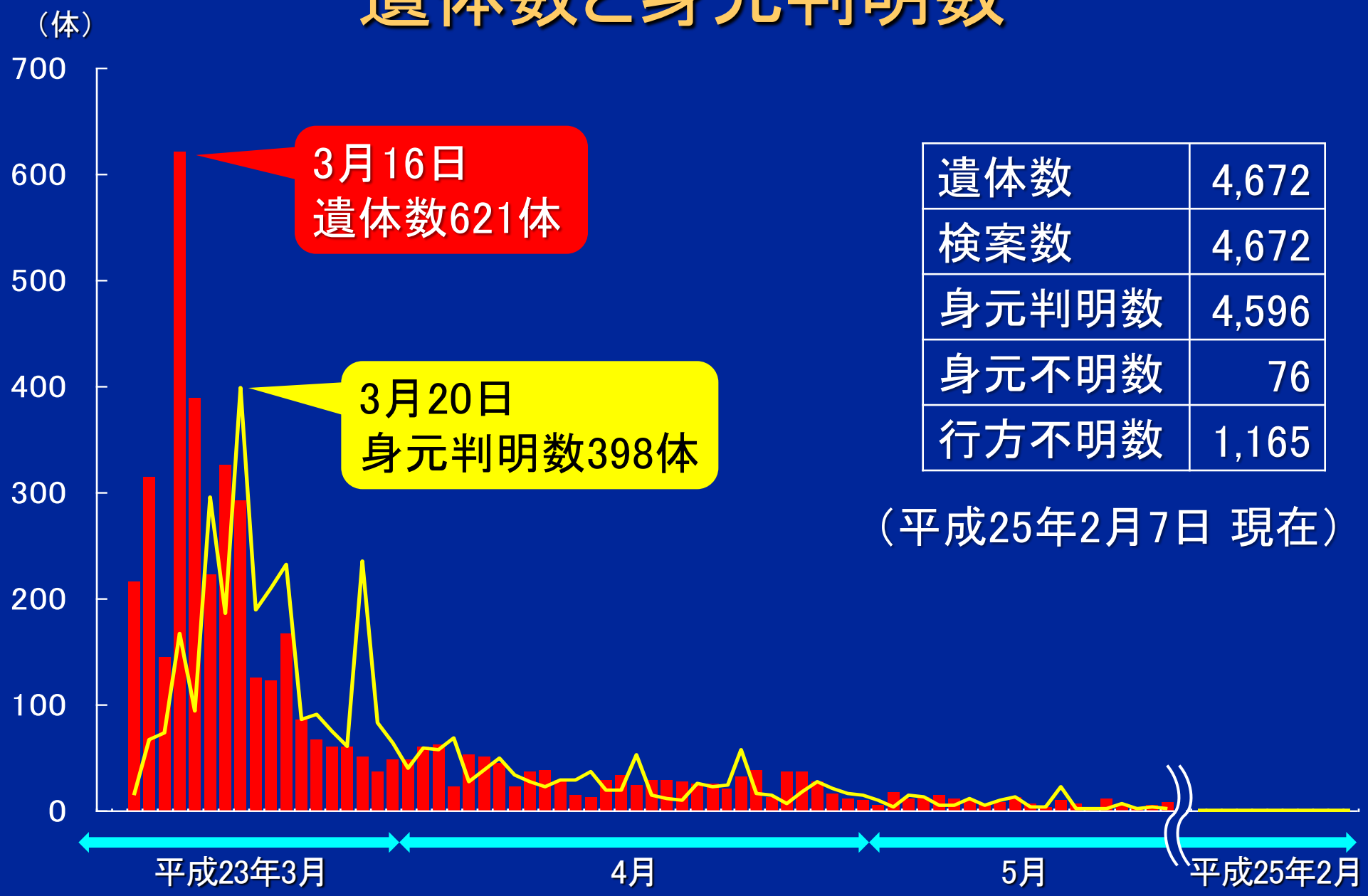
（延べ人数）



平成25年2月末現在

合計1,165名

遺体数と身元判明数



遺体数	4,672
検案数	4,672
身元判明数	4,596
身元不明数	76
行方不明数	1,165

（平成25年2月7日 現在）

警察医・検案医との協力

岩手県医師会
警察医・検案医委員会

警 察 医

検案医会

岩手県医・石川育成会長に聞く

「数年は続けなければいけないのでは」

陸前高田市は気仙医師会の会長、副会長が亡くなられ、地域医療の復興にも悲観的な見方が広がっていた。これではいけないと思い、郡市医の会長会議で「肋骨対応」を提案したところ、快く了承された。これまで協力していただいた先生方には深く感謝している。

県医が診療所を開設して被災地支援をすることは、これまでなかったのではないか。現地で「診療所は役に立っていますか」と聞くと、「ものすごく役に立っている、診療所があることで安心できる」と感謝される。地域の要望に応えるのは私たちの義務だと思う。

県は「平成27年度（2015年度）までに県立病院を被災前の規模に沿って再建する」としている。どうなるか分からないが、高田診療所はもう数年は続けなければいけないのではないか。また、少数ではあるが他県から移り住んで診療に携わってくださる先生もいる。本当にありがたいと思っている。

日本医事新報（平成24年5月5日号）